

# 中津川市地域医療実習 感想文

金沢医科大学 1年生 氏名宮下若奈

私は3月18日から22日までの5日間お世話になりました。この実習で、医療、福祉、介護の現場を見学し、実際に参加することでそれぞれの現場を学ぶことができ、また、この3つのつながりを感じることができました。学校の実習では体験できないような健康福祉部の高齢支援課と健康医療課にもいかせていただきました。住民の方が生活しやすいようにケアマネジャーさんや保健師さんがご本人さんや医療従事者の方と支援について話し合いを繰り返していることはとても印象に残っています。また、中津川市における健康推進の取り組みや児童発達支援について知ることができました。私はまだ一年生なので医学的なことはあまりわかりませんが、診察や訪問看護の流れ、子どもや高齢者とのコミュニケーションの取り方も学びました。

この実習を通して思ったことは、地域医療はつながりが大切だということです。医療従事者同士のつながりだけでなく、患者さんや利用者さんと良好な関係を築き、一人一人に対応していくことで地域医療が成り立っているのだと思いました。

実習の合間には夕森公園や馬籠宿に連れて行って下さり、中津川の豊かな自然と文化を見ることができました。

五日間でたくさんの方とお話ししましたが、中津川市の方々はその地域をすごく大切にしていると感じました。実習で関わって下さった方々は、すごく温かく受け入れて下さり、たくさんのことを教えて下さりました。

これからは医学の勉強に加えて、今回の実習で疑問に思ったことや地域医療についてもっと勉強していきたいと思います。

今回の実習で関わって下さった皆さん、本当にありがとうございました。